

将来ビジョン

素案

目 次

1 将来ビジョンとは	1
1.1 「東住吉区将来ビジョン」とは.....	1
(1) 東住吉区将来ビジョンの役割.....	1
(2) 将来ビジョンとまちづくりビジョンの関係.....	2
(3) 大阪市計画との関係.....	2
2 区役所と区長の役割	3
2.1 区役所の役割	3
2.2 区長の役割	7
3 東住吉区の現状と課題	9
3.1 区の概要	9
3.2 区の特徴とまちづくりの課題	10
(1) 東住吉区の特徴.....	10
(2) 区内の地理的な特徴.....	16
(3) まちづくりの課題.....	18
4 区のこれからを考える	24
4.1 SWOT分析から見る東住吉区.....	24
4.2 区民が考える東住吉区	25
5 東住吉区が目指す将来像のまちづくり	26
5.1 将来像	26
5.2 まちづくりの方向性	27
(1) 将来像の実現のための目標.....	27
(2) 目標別の視点と主な取組.....	28

1 将来ビジョンとは

1.1 「東住吉区将来ビジョン」とは

(1) 東住吉区将来ビジョンの役割

「東住吉区将来ビジョン」（以下、将来ビジョン）は、区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性等をとりまとめ、区民の方々に明らかにするものです。

また、「東住吉区将来ビジョン」で示された施策展開の方向性に沿って、施策・事業の取組を推進するため、単年度ごとのアクションプランである「運営方針」を、毎年策定します。

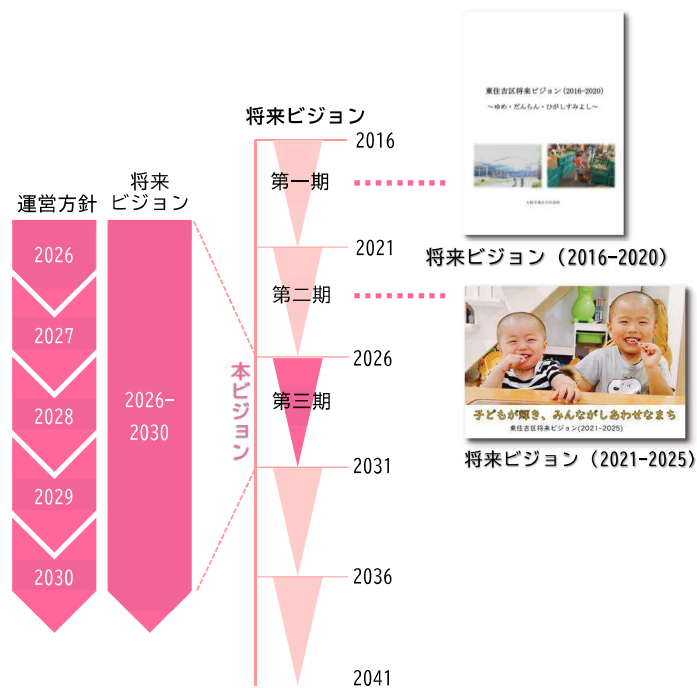


図 1 将来ビジョンのあゆみ

(2) 将来ビジョンとまちづくりビジョンの関係

道路、公園、交通ネットワーク、土地利用形態など、主にハード面に関わるまちづくりの方向性については、一般的に事業期間が長期に渡るため、将来ビジョンの計画期間である5年間では描ききれません。

そのため、中長期的（20年間）な視点で、目標とする将来像を定め、その実現に向けた施策・事業を戦略的に展開していくための指針として、東住吉区ではまちづくりビジョンを策定しています。



図 2 将来ビジョンとまちづくりビジョンとの関係

(3) 大阪市計画との関係

大阪市では令和6年3月に、大阪市が将来にわたって持続可能な都市として成長・発展していくため、大阪市人口ビジョン等を踏まえ、政策目標や施策の基本的報告、具体的な施策を取りまとめた「大阪市未来都市創生総合戦略」を策定しています。

戦略の方向性として、一人ひとりが多様な幸せ(Well-being)を実感でき、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざしており、将来ビジョンは方向性を一にして取組を進めていきます。

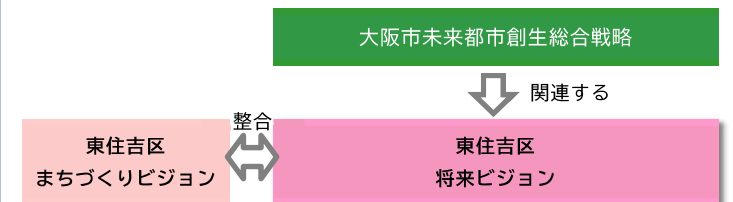


図 3 「大阪市未来都市創生総合戦略」との関係

2 区役所と区長の役割

2.1 区役所の役割

東住吉区役所が担う主な役割は、区域内の住民の身近な暮らしに関わる事務事業であり、以下のとおり条例で定められています。

- (1) 区における地域づくり及び安全で安心なまちづくりに関する事項
- (2) 区における社会福祉、社会保障及び保健衛生に関する事項
- (3) その他区民に身近な行政サービスに関する事項

資料：区の事務所の名称、位置及び所管区域に関する条例 第3条

東住吉区役所の組織

東 住 吉 区 役 所

総 務 課

- 庶務グループ 区役所の庶務等に関すること。
- 選挙グループ 選挙、統計に関すること。
- 政策企画グループ 局所管業務に係る事業企画に関すること。
- 広聴広報グループ 広聴広報に関すること。

区 民 企 画 課

- 区民企画グループ まちづくり活動支援、防災、防犯、生涯学習、人権啓発、区民ホールの使用許可等に関すること。

窓 口 サ ー ビ ス 課

- 住民情報・住民登録グループ
住民登録、印鑑登録及び証明、特別永住者証明書、住居表示、就学に関すること。市税に関する諸証明の発行、自動車臨時運行許可に関すること。
マイナンバーカードの交付に関すること。
- 住民情報・戸籍グループ
戸籍関係届出、戸籍謄抄本・附票の写しの請求、埋火葬の許可申請等に関すること。

保険年金・管理グループ
国民健康保険料の納付・減免・還付等に関すること。

保険年金・保険グループ
国民健康保険資格取得・喪失・変更、高額療養費、特定疾病、出産一時金、葬祭費、後期高齢者医療制度、国民年金等に関すること。

保 健 福 祉 課

障がいグループ
各種障がい者手帳、障がい者福祉サービス等に関すること。

子育て支援グループ
保育所、児童手当、児童扶養手当、子育て支援、児童虐待、ひとり親家庭生活支援等に関すること。

介護保険・高齢グループ
介護保険、敬老優待乗車証、緊急通報システム等に関すること。

保健・健診グループ
乳幼児健診、がん検診、母子手帳、予防接種等に関すること。

保健・生活環境グループ
飼い犬の登録、犬・ねこの引き取り、ねずみ・害虫防除相談、動物愛護、食品・環境衛生苦情、公害苦情等に関すること。

保健・健康づくりグループ
保健師による健康相談、精神保健相談等に関すること。

保 護 課

生活保護グループ 生活保護に関すること。

民生委員・児童委員グループ 民生委員・児童委員会、緊急援護資金等に関すること。

適正化グループ 生活保護適正化に関すること。

生活困窮者自立支援グループ 生活困窮者自立支援に関すること。

保健福祉センター

※ 保健福祉センター所長(副区長)を補助する組織として
保健福祉課及び保護課を充てています

矢 田 出 張 所

住民異動届・印鑑登録・戸籍届書の受付と証明発行、埋火葬の許可・就学・市民相談、国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金・児童手当・こども医療証・敬老優待乗車証などの各種受付、市税・国民健康保険料・後期高齢者医療保険料と介護保険料の収納に関すること。

東住吉区役所が担う主な事務事業について

■ 区役所所掌事務

区役所が担う事務事業には、法定受託事務と自治事務があります。以下にその関係性について記載します。

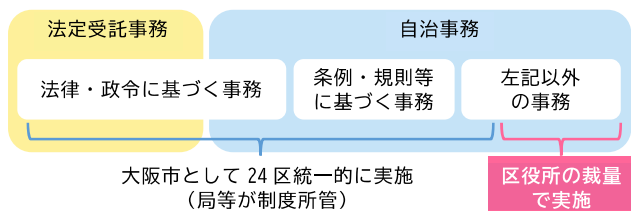


図 4 区役所が所掌する事務の関係

■ 法定受託事務

（主な事務の例）国政選挙・国勢調査における実地調査に関する事務
戸籍事務・生活保護等

■ 自治事務【法令等に基づく事務】

（主な事務の例）介護保険サービス・国民健康保険の給付・児童福祉
老人福祉・障がい者福祉サービス等

■ 自治事務【法令等に基づかずに任意で行うもの】

大阪市として 24 区統一的に実施する事務は局等が制度所管します。

区域内の住民の身近な暮らしに関わる事務事業として、東住吉区役所が実施している主な事業について一覧を掲載します。

	主な事業について		
総務課	職員の人件費	区役所等庁舎の維持管理	広聴広報
	職員の人材育成	区政会議運営	空家等対策推進
	地域資源を活用した施策の検討、区内の現状把握、課題解決に向けた企画検討		
区民企画課	地域活動協議会補助及び支援	区民ホール・会館の管理運営	クラインガルテン広場の管理運営
	青少年の健全育成の推進	学校体育館開放	生涯学習推進
	人権啓発推進	防災力向上	防犯・交通安全対策
	自転車利用適正化	地域産業等との連携推進	
	区民相互の交流活動へのサポート（区民フェスティバル・スポーツ・レクリエーション事業・東住吉区文化祭）		
窓口サービス課	住民情報の窓口業務の民間委託	住民票等発行の利便性向上	
保健福祉課	地域相談窓口による地域福祉サポート	地域自立支援協議会運営	地域福祉活動の推進
	出産・育児総合サポート	未就学児のための子育て支援	乳幼児発達相談体制強化
	発達障がいサポート	地域子育て支援の推進	要保護児童対策地域協議会の運営
	ドメスティック・バイオレンス対策	高齢者食事サービス（ふれあい型）	住居環境健全化支援
	区民の健康づくり推進	大規模災害時における医療救護体制の構築	

区長の役割

区長は、「区役所の長」という顔と、区の区域内の基礎自治に関する施策や事業の実質的な責任者としての「区シティ・マネージャー」という2つの顔を持っています。ここでは、「区長」と「区シティ・マネージャー」としての位置づけについて説明します。

なお区長及び区 CM 一体であることから、学校教育だけでは解決できない横断的な課題について、区長などの権限や、区の職員や地域人材といった資源も活用することで、家庭や地域も含めた総合的なサポートに資する、区担当教育次長としての役割も有します。

区長とは

地方自治法上の区役所の長。市から分掌された事務を掌理し、区の職員の指揮監督を行っています。区長として所掌する事務は区役所に分掌された事務に限られます。

区シティ・マネージャーの役割

区役所に分掌されていない事務のうち区長に決定権を持たせる事務について、行政区単位で、各局横断的に総理し局長以下を指揮監督します。

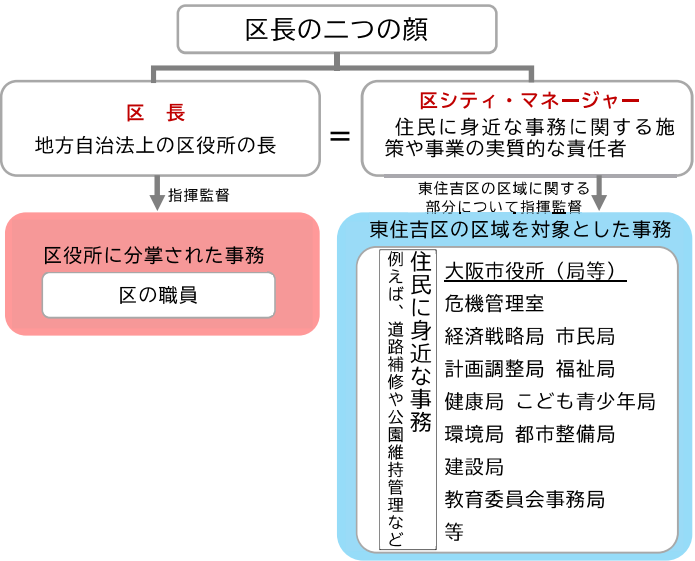


図 5 区長の役割

区シティ・マネージャーが指揮監督する主な事務事業について

局名	主な事業について
危機管理室	個別避難計画の作成推進 災害時避難所表示板の整備 災害や大規模な事故・事件により、市民の生命・身体・財産に重大な被害が生じるような緊急事態が発生した場合に、各局を指揮し、全庁的な総合調整を行い、全市をあげて迅速かつ総合的な対処、措置を行います。
経済戦略局	スポーツ施設指定管理運営 学校体育施設開放事業 にぎわいを創出し、世界中から人・モノ・投資等呼び込むため、観光・文化・スポーツの振興や国際化に関する施策、特区制度に関する施策や企業立地支援、中小企業の活性化に取り組んでいます。
市民局	「人権が尊重されるまち」の実現をめざすことを目的とする企業啓発推進 地域就労支援 男女共同参画普及啓発 区政・市民活動推進・安全なまちづくりをはじめ、雇用・勤労施策、男女共同参画、消費生活、人権に関することなど、市民のみなさんの生活に係わるさまざまな業務を行っています。
計画調整局	まちづくり活動支援 都市景観資源の発掘・活用 都市計画、地域計画、建築指導及び都市再生に関する業務を行っています。
福祉局	地域における要援護者の見守りネットワーク強化 障がい者相談員設置 老人福祉センター運営 だれもが自分らしく安心して暮らせるように、社会福祉、社会保障にかかる事業を推進しています。
健康局	健康づくりの重要性を普及啓発することを目指す食育推進事業等 地域健康講座 だれもが身近な地域で安心して暮らせるように、市民の健康の増進を図るため、保健衛生に関する事業を推進しています。
子ども青少年局	子育て活動支援 大阪市子どもサポートネット（コーディネート）配置 家庭児童相談運営 子どもの健やかな育ちと青少年の自立を促し、子どもを生み育てることに安心と喜びを感じることできるように、生まれる前から乳幼児期を経て青年期に至るまでの子ども及び青少年に係る事業を総合的に推進しています。
環境局	ごみ減量・3R啓発推進 地域との連携によるごみ減量・リサイクルの取組推進 健康で快適な生活を営むことができるよう環境保全と創造に関する事業を行っています。また、ごみの適正処理、減量・リサイクルを推進するとともに、まちの美化、斎場・墓園の運営なども行っており、地球環境から生活環境まで、幅広い環境行政を総合的に推進しています。
都市整備局	防災力強化マンション認定プレート等制作 魅力ある居住づくりや密集市街地の整備、民間住宅への融資・助成、市営住宅の建設・管理などの各種住宅施策を推進するとともに、土地区画整理事業・再開発事業を実施しています。また、公共建築物の建設・技術的管理・ファシリティマネジメントを行っています。
建設局	生活道路等における緊急的な舗装維持補修 遊歩道等における樹木の維持管理 放置自転車対策 河川の維持管理 公園管理作業 良好な都市空間の創造に寄与するために、道路、橋梁、公園、河川、下水道等の重要な都市基盤を適正かつ有機的に管理するとともに、街路樹の維持管理や「花とみどりのまちづくり」の推進などの緑化事業を行っています。
教育委員会事務局	地域識字・日本語教室の開設 生涯学習推進員の委嘱 PTA地域教育活動研修 教育委員会は、大阪市立の学校（大学を除く）、社会教育・生涯学習施設を管理し、学校教育、社会教育、文化財の保護などに関する事務を担当しています。教育委員会事務局は、教育委員会の決定に基づき具体の事務を執行しています。

3 東住吉区の現状と課題

3.1 区の概要

- ◆東住吉区は大阪市の南東部に位置し、阿倍野区・住吉区・平野区・生野区および松原市と隣接しています。南北約 6.4km、東西約 2.8km と細長い形状で、面積は 9.75km² と市内で 8 番目の広さです。
- ◆かつては純農村地域でしたが、昭和初期、特に第二次世界大戦後から昭和 40 年にかけて市街化が急速に進み、現在では区面積の三分の一以上が住宅系施設で構成されています。戸建て住宅の割合が高く、今も現存する旧村のまちなみが歴史を醸し、景観に趣を与えています。
- ◆交通面では、JR 関西本線・阪和線、近鉄南大阪線、大阪メトロ谷町線が区内を走り、天王寺や大阪阿部野橋へのアクセスも良好です。



図 6 東住吉区の位置

3.2 区の特徴とまちづくりの課題

(1) 東住吉区の特徴

東住吉区のまちの主たる特徴を以下に示します。

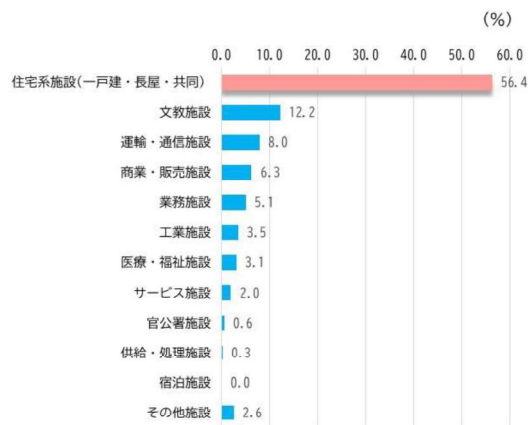
■ 東住吉区の 5 つの特徴

- ①住宅系施設が多い、住まうまち
- ②児童数が多い、子育てのまち
- ③つながり・支え合いを大事にしているまち
- ④都心に近く、生活利便性の高いまち
- ⑤スポーツに親しみやすく、自然を感じられるまち

それぞれの内容は次の通りです。

①住宅系施設が多い、住まうまち

- ◆東住吉区は建物の半分以上が一戸建・長屋・共同住宅等の住宅系施設で構成されています。戸建て住宅、低層の共同住宅、中高層の共同住宅が多い地域など、単身世帯や家族、高齢者と様々な居住ニーズに対応しています。
- ◆大阪市全体において、従業地・通学地による人口（昼間人口）が常住地による人口（夜間人口）よりも多いのに対して、東住吉区では夜間人口の方が昼間人口よりも多く、ベッドタウンとしての性格を有しています。
- ◆地形は平坦で、自転車や歩行者が移動しやすい地形を有しています。



資料：令和3年「建物用途別土地利用現況調査」（大阪市）

※母数は非建ぺい地を除いて割合を算出している。

図7 土地利用現況による面積割合

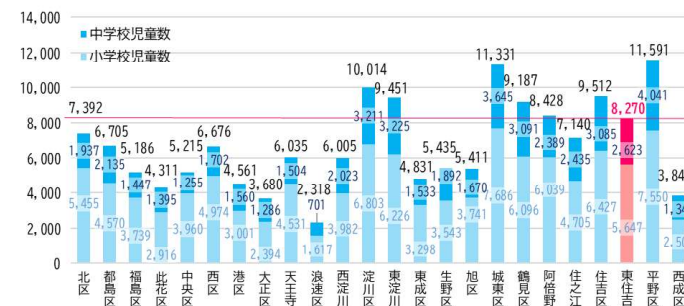
②児童数が多い、子育てのまち

- ◆東住吉区の合計特殊出生率は、全国平均と同水準で大阪市全体と比べて高めの水準を維持しています。また、人口千人あたりの出生率は近年、全国平均を上回るとともに大阪市全体と比べても高めの水準を維持しています。
- ◆東住吉区の小中学校の児童数は8,270人で、大阪市24区中7位に位置しており、比較的児童数の多い区です。近年は子育て世帯の人口増加に伴い、子どもの人口も増加傾向となっています。



資料：2025年「大阪市の出生」（大阪市）

図8 合計特殊出生率の推移



資料：「令和6年度学校現況調査」（大阪市）

図9 東住吉区の小中学校の児童数

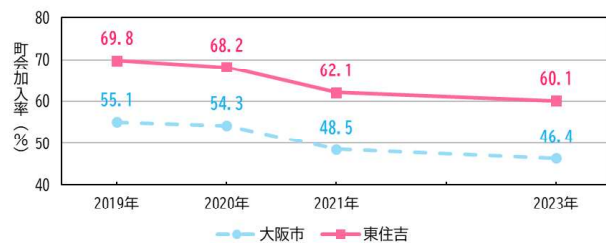
③つながり・支え合いを大事にしているまち

- ◆東住吉区では、減少傾向にありながらも町会加入率が大阪市平均よりも高く、小学校区ごと14地域では毎年のように防災訓練が実施され、また児童の登下校時の見守り活動、地域による青色パトロールカーによる防犯活動等が実施されています。
- ◆「地域の身近な相談相手」民生委員・児童委員を身近に感じていただくイベント「きらめきフェスティバル」では委員が自らスタッフとなり、大人から小さなお子さんまで楽しんでいただけるような企画、運営がなされ、令和4年から開催されています。

民生委員・児童委員

地域の住民生活を必要に応じ適切に把握し、生活に困った人や児童の保護・育成などの福祉について相談を受け、自立を助けるために必要な相談・支援を行う地域福祉推進の担い手です。

- ◆ボランティアや団体活動も盛んで、区政会議でも「まちへの美化意識が高い」という意見が出ており、住民は自分ごととして地域課題に向き合い、子どもやまちへの思いを大切にする文化が根づいています。

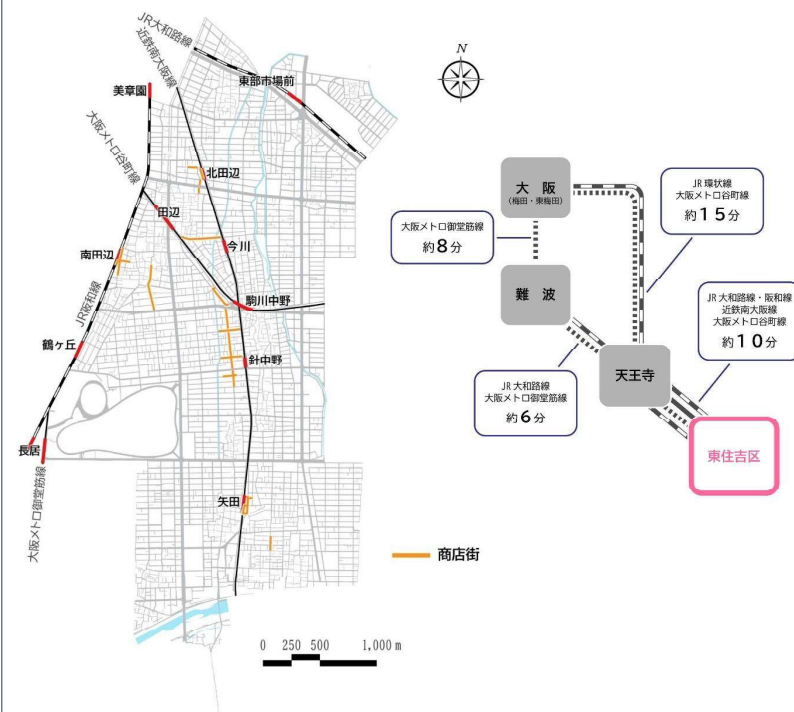


資料：令和6年「東住吉区町会加入推進アクションプラン」（東住吉区）

図 10 町会加入率の推移

④都心に近く、生活利便性の高いまち

- ◆東住吉区は JR 関西本線・阪和線、近鉄南大阪線、大阪メトロ谷町線が通り、都心へのアクセスが良好で、大阪駅まで約 20 分、天王寺駅約 10 分、難波駅約 15 分と通勤・通学に便利です。
- ◆駅周辺や幹線道路沿いには商業施設が立地しており、住民が買物をするのも便利です。



資料：令和7年「大阪市商店街地図」（大阪市経済戦略局）

図 11 区内の鉄道の状況と都心部へのアクセス

⑤スポーツに親しみやすく、自然を感じられるまち

- ◆市内唯一の運動公園である長居公園を有していることから、市内で2番目に広い公園面積を有し、1人あたりの公園面積も市内で上位に位置します。長居公園では、区と連携協定を締結しているレッドハリケーンズ大阪、セレッソ大阪の試合が開催されており、プロスポーツにも親しみやすい環境です。
- ◆都市部でありながら農地が多く残存しており、生産緑地として保全されています。特に矢田地域は大和川に隣接していることから、自然とふれあえる環境が残っており、日常の癒しや憩いの場としても機能しています。



資料：令和3年「建物用途別土地利用現況調査」(大阪市)
令和6年「大阪市都市計画審議会資料等」(大阪市)
令和7年「大阪市都市公園一覧表」(大阪市)

図12 東住吉区の自然(公園・緑地・生産緑地)

(2) 区内の地理的な特徴

施設分布の特徴

- ◆住宅地が区全体にわたって分布しており、特に中央部から南部で長屋建住宅が残り、民間の共同住宅は北部と区の境界に多い傾向にあります。
- ◆業務施設・工業施設・運輸通信施設などの産業に関わる施設は、今里筋周辺、東部市場前駅周辺に分布しています。
- ◆区内には私立の教育施設も多く立地し、教育機能が充実した地域と言えます。

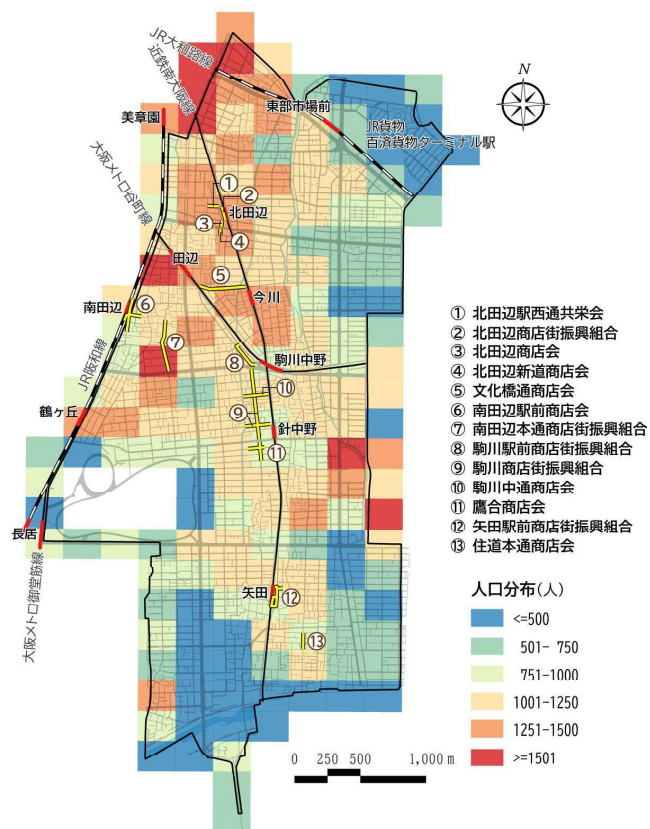


資料：令和3年「建物用途別土地利用現況調査」(大阪市)
平成25年「国土数値情報 学校データ」を基に時点修正
令和7年「大阪府所轄の私立専修学校及び各種学校一覧」(大阪府)

図13 土地利用現況図

人口分布の特徴

- ◆ 駅周辺を中心に人口が分布し、生活利便施設や交通結節点に近い、駒川中野駅、針中野駅、今川駅、田辺駅、北田辺駅周辺は、人口密度が高くなっています。
- ◆ 商店街などの生活密着型の商業施設は、主要駅周辺や幹線道路沿いにあり、その周辺に人口が分布している傾向があります。



資料：令和2年「国勢調査」（総務省）250mメッシュ

令和7年「大阪市商店街地図」（大阪市経済戦略局）

図14 区内の人口分布

(3) まちづくりの課題

東住吉区が、持続的に地域として発展していくにあたってのまちづくりの主たる課題を以下に示します。

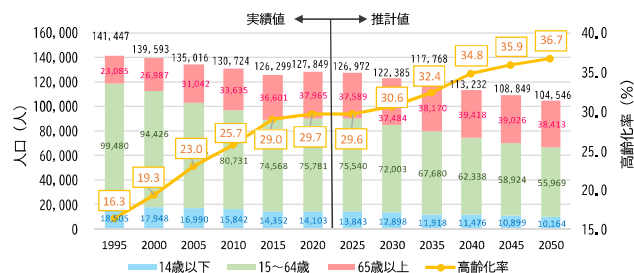
■まちづくりに関する5つの課題

- ①人口減少・少子高齢化の深刻化
- ②健康と地域福祉増進による安心の確保
- ③地域防災力の向上
- ④事業所の減少に伴う地域経済の減退
- ⑤公共サービスの持続的な発展とインフラの維持・活用

それぞれの内容は次の通りです。

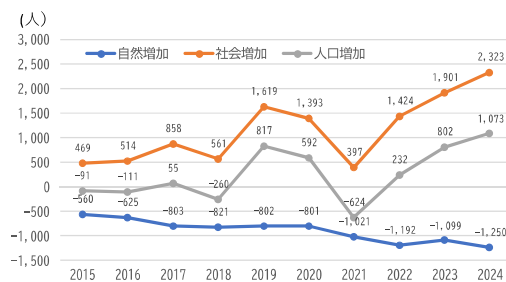
①人口減少・少子高齢化の深刻化

- ◆近年は転入が増えており自然増減と社会増減を合わせると人口は横ばいになっており、他市区町村から選ばれている東住吉区ですが、将来推計を見ると持続的な人口減少が続くと見られます。
- ◆高齢化率（総人口に占める 65 歳以上の割合）は 1995 年の 16.3%から、2050 年には 36.7%と、約 2.3 倍に増加する推計となっています。2020 年時点で 29.7%となっており、深刻な高齢社会を迎えていることが分かります。
- ◆生産年齢人口と子どもの減少は、将来の地域の担い手不足につながるため、地域活動の維持のためにも、子育てしやすいまちづくりが必要です。



出典：1995～2020 各年国勢調査（総務省）／2023 年「日本の地域別将来推計人口 令和 5（2023）年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）

図 15 東住吉区の人口と高齢化率



出典：大阪市推計人口

図 16 東住吉区の近年の人口動態

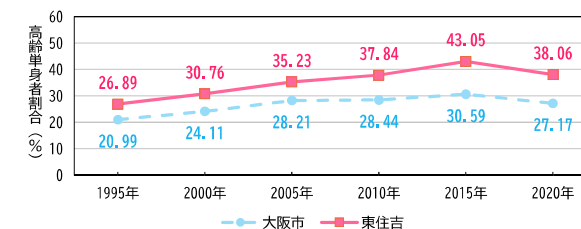
②健康と地域福祉増進による安心の確保

- ◆健康寿命は全国平均をやや下回るものの、年々延びている傾向にあります。高齢化が進む中で、運動や食生活改善など日常的な健康支援が今後ますます重要です。
- ◆国民健康保険特定健康診査受診率は年々向上し、健康意識は高まりつつありますが、一方でがん検診受診率は市平均を下回っており、区民の健康増進のためにさらなる啓発が必要です。
- ◆全世帯における単身世帯割合は 40%を超え増加傾向で、単身世帯のうち高齢単身世帯の割合が三分の一以上を占め、大阪市全体よりも高くなっています。
- ◆また、生活保護受給世帯数は増加傾向にあり、保護率は大阪市全体と比較して高い水準で推移するなど地域福祉の課題は多く、だれもが自分らしく安心して暮らしていくために、地域に関わるあらゆる人々や組織の力をあわせて、多くの課題に効果的に対応していくことが求められています。



資料：令和 7 年「大阪市の生活習慣病の状況」（大阪市）

図 17 国民健康保険特定健康診査受診率の推移



資料：令和 6 年「東住吉区地域福祉計画」（東住吉区）

図 18 単身高齢者割合の推移

③地域防災力の向上

- ◆南海トラフ地震の発生リスクや、災害の激甚化による大和川の氾濫など、大規模災害への備えが求められる中、狭い道路に面した木造住宅が多く、また大阪市全体の中でも空家率が高く、特定空家等の件数も多いことから、災害時の延焼拡大や家屋が倒壊し、避難経路の妨げとなる恐れがあります。地域全体で災害に強いまちをつくることが重要です。

特定空家等

そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態であると認められる空家等

- ◆長居公園や区内各所の公園は、災害時には避難場所にも指定されており、ジョギングや体操などの活用による健康の維持のみならず、安全と安心を支える場でもあります。
- ◆避難行動の周知や情報伝達手段の確保、地域ネットワークの強化を通じて、防災力を高め、誰もが安心して暮らせる持続可能な地域づくりを進めていく必要があります。

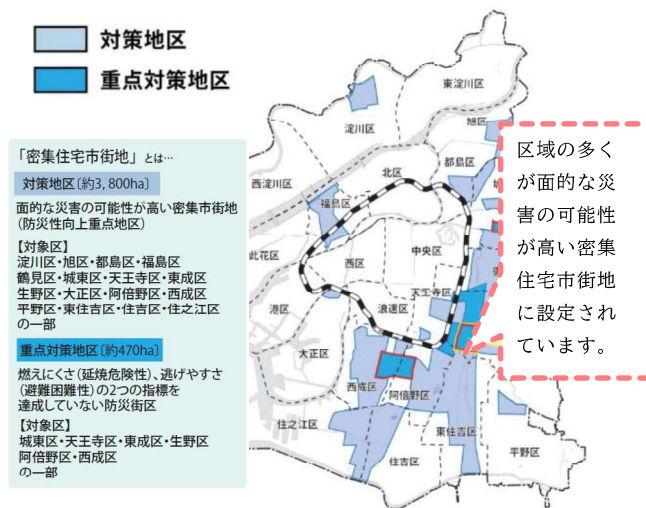
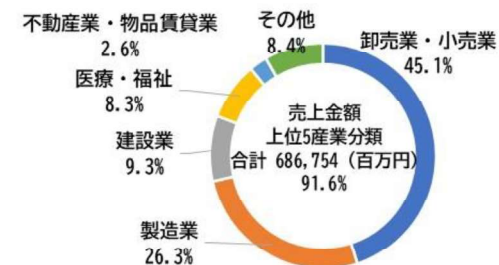


図 19 大阪市密集住宅市街地対象エリアMAP

④事業所の減少に伴う地域経済の減退

- ◆東住吉区における産業構造を見ると、卸売・小売業が45.1%、製造業が26.3%で、これら2つの産業で売上全体の7割以上を構成しており、区の経済を牽引する中核的な産業分野であると言えます。
- ◆東住吉区の従業者数は近年回復傾向にある一方で、事業所数は減少しており、地域産業構造の変化や事業所の廃業・撤退が進んでいます。
- ◆持続的に地域が発展していくためには、地域の特性を生かしながら「ものづくり」を振興する等して地域産業を維持し、地域経済の活性化を図ることが求められます。



資料：「令和3年経済センサス-活動調査」(総務省・経済産業省)

図 20 東住吉区産業大分類別売上金額



資料：平成19年以前各年、平成26年「商業統計調査」(経済産業省)

資料：平成24年、28年、令和3年「経済センサス-活動調査」(総務省・経済産業省)

図 21 東住吉区事業所数及び従業者数の推移

⑤公共サービスの持続的な発展とインフラの維持・活用

- ◆区役所の窓口では、待ち時間をホームページで案内するなど、来庁者の利便性の向上に努めています。一方、今後さらなるデータやデジタル技術の活用を前提に、サービスの利用者の目線で、まちや地域のあり方、サービスや行政のあり方を再デザインし、社会環境の変化にも的確に対応していくことにより、生活、経済活動を行う多様な人々がそれぞれの幸せ（Well-being）を実感できるまちへの発展を目指し DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組を進めていく必要があります。
- ◆行政機能が集積している区役所周辺では、区役所が昭和 49 年に建設されるなど、建設後 50 年程度経過する公共施設が複数存在します。住民の利便性を損なうことなく、計画的に更新を行っていくことが求められます。

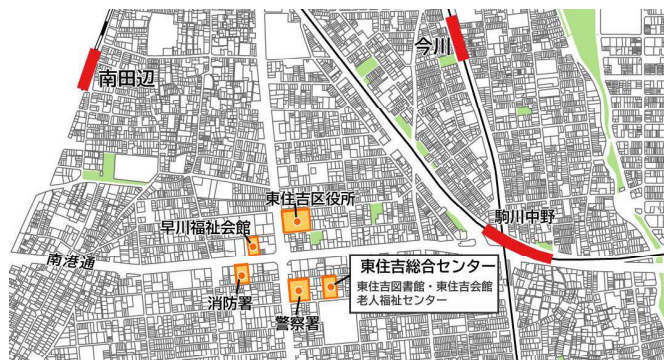


図 22 主な官公庁施設の集積

施設名称	施設情報
東住吉区役所	昭和 49 年建設。鉄筋コンクリート造
東住吉会館	昭和 53 年建設。鉄筋コンクリート造
早川福祉会館	昭和 37 年開設。 平成 5 年建替え。鉄筋コンクリート造
東住吉消防署	昭和 49 年建設。鉄筋コンクリート造

4 区のこれからを考える

4.1 SWOT分析から見る東住吉区

東住吉区の現状と課題を踏まえ、Strength（強み）、Weakness（弱み）、Opportunity（機会）、Threat（脅威）の観点で以下のように整理しました。

Strength	■ 地域傾向 【子育て】 ● 合計特殊出生率は、大阪市全体と比べて高い。令和2年において市内で4番目に高い。 ● 児童数は大阪市内で7番目に多く（24区中）、市内では比較的児童数が多い。 【医療・健康】 ● 健康寿命が延びている。 【住宅】 ● 区面積の半分以上が住宅系で構成されており、住宅の種類（戸建て、共同住宅）に応じて、多様な世帯が住める。 【公園・緑地】 ● 経営耕地面積が、大阪市内で4番目に多く、生産緑地は公園南矢田、住道矢田に多く分布している。 ● 公園面積は87haあり、大阪市内で2番目に多い。 【地域愛】 ● 町会加入率は減少傾向だが、大阪市全体の平均より高い値で推移している。 ■ 地域資源 【福祉】 ● 「長居障がい者スポーツセンター」や「大阪発達総合療育センター」「早川福祉会館」等の施設の立地。 【緑地】 ● 区花であるナデシコや伝統野菜である田辺大根など自然が身近にある。今川緑道の桜、田辺の蛍、矢田ではお米、季節を感じられる。（区政会議意見） 【商店街】 ● 駒川商店街をはじめ、各所に商店街があり、日常の便利성이高い。買い物が便利。 【長居公園】 ● スポーツを楽しめるのみならず、イベントやコンサート等で多様な世代が集い、芸術や植物など心に触れる、「食」「学び」もある空間。 【歴史】 ● 近世以前の農村集落を期限とする住宅地が一部に点在しており、古い家屋・寺社・堀の立ち並びが歴史を醸し、景観に趣を与えている。 ■ 特性 【地域愛】 ● 昔から住んでいる方の地域を想う気持ちや地域の子ども達を想う気持ちが大きく、地域コミュニティが強い。ボランティア、各種団体活動が活発である。（区政会議意見） ● まちが清潔で、美化意識が高い。（区政会議意見）	Weakness	■ 地域傾向 【子育て】 ● 大阪市は全国平均より児童虐待が多く、平成30年より、横ばいで推移している。 【医療・健康】 ● 健康寿命は国の平均と比較して短い。 ● 国民健康保険特定健康診査受診率が大阪市全体と比べて少し高いが、一方で国よりは低い。 ● がん検診受診率が大阪市全体と比べて低い。 【福祉】 ● 生活保護受給世帯数が大阪市内で6番目に多い。生活保護率は6.3%で、市内4番目に高い。 【住宅】 ● 空家率が大阪市内で4番目に高い。 【安心】 ● 令和6年交通事故発生件数324件で大阪市内で8番目の多さ。（人口千人あたり約2.5件） ● 令和6年全刑法犯認知件数は1,354件で大阪市内で13番目の多さ。（人口千人あたり約10.5件） ■ 地域資源 【住宅】 ● 狭い道路に面した木造住宅が多く、区域の多くが面的な災害の可能性が高い密集住宅市街地に設定。 【インフラ】 ● 区内にある施設の今後の老朽化と管理コストの増大が懸念される。
	■ 地域傾向 【人口】 ● 近年、転入人口が増加している。 【商業・工業】 ● 卸売業、小売業のシェアが45.1%と最も高く、次いで製造業が26.3%となっており、従業者数が近年微増傾向。 【地価】 ● 平成27年を基準として土地による差はあるものの、令和5年からは上昇傾向にある。 【交通利便性】 ● 東住吉区内の大阪メトロと近鉄の駅の乗降人数は、年々上昇している。 ■ 地域資源 【交通利便性】 ● JR関西本線・阪和線、近鉄南大阪線、大阪メトロ谷町線が通り、都心へのアクセスが良好。 ■ 特性 【新技術】 ● DXの推進による区役所の利便性の向上。 【社会潮流】 ● ライフスタイルの変化と多様な幸せ（Well-Being）の追求。		■ 地域傾向 【子育て】 ● 全国的なひとり親世帯の増加。 【高齢化】 ● 住道矢田、公園南矢田、照ヶ丘矢田の高齢化率が30%を超えている。今後も区全域で高齢化が進行する。 ● 高齢単身者割合が大阪市全体と比べて高い。 【商業・工業】 ● 事業所数が減少している。 【地価】 ● 一部地域で地価が停滞している。 ■ 地域資源 【住宅】 ● 空家等の増加。 【緑地】 ● 営農の後継者不足による耕作放棄地の増加。 【防災】 ● 大和川が氾濫した際、公園南矢田、住道矢田、照ヶ丘矢田、矢田が近く、浸水の到達速度が速い区域となっている。災害の激甚化。

4.2

区民が考える東住吉区

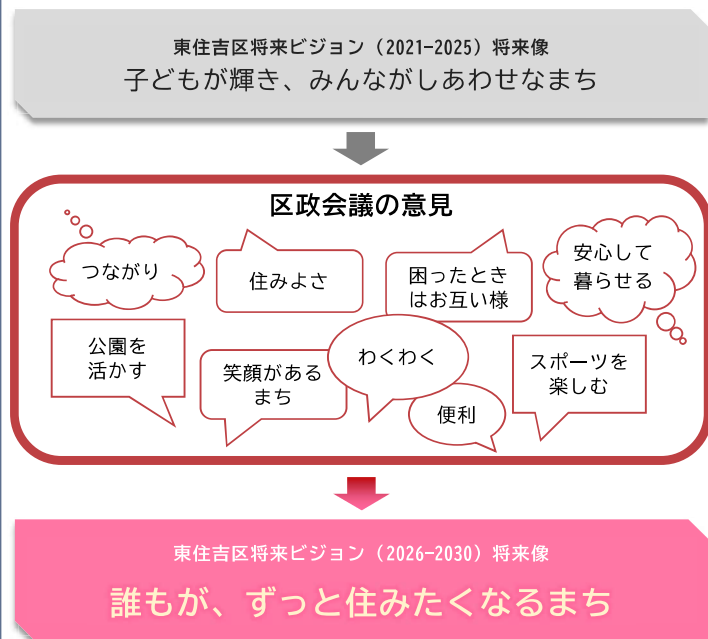
区政会議で、東住吉区の特性や魅力について委員で意見交換を実施した内容を分類しました。

キーワード	内 容	意 見
住みやすい	買物が便利／ 閑静な住宅エリア	若い世代を呼び込む／住宅地としての共生社会に向けた取組（外国籍・留学生等）／世代の居住を支えるためのハード整備（バリアフリー、ユニバーサルデザイン、DX）
子育て	国、大阪市平均より高い出生率	学校教育の充実
医療・福祉	「長居障がい者スポーツセンター」「大阪発達総合療育センター」「早川福祉会館」の立地	障がい者・高齢者が、他の区民の方々と関わる機会を増やす
つながり・ 支え合い	歴史がある／地域愛が強い／地域コミュニティが強く、ボランティア活動や各種団体活動が活発／まちが清潔で、美化意識が高い	景観や街並みの保存／歴史を知ってもらうことにより区に愛着を持ってもらう／区民が地域に関わる機会の充実／若い世代の町会での活躍
交通網の 充実	交通網が充実している／生活するのに便利なまち／各鉄道へのアクセスが容易	バス路線など区内東西を移動する交通手段
働き場所がある	職住近接	区内事業所の確保
公園・自然	たくさんの公園／区花であるナデシコや伝統野菜である田辺大根／今川緑道の桜、田辺の蛭、矢田ではお米と季節を感じられる	自然を楽しむイベント
わくわく	大阪を代表する駒川商店街／長居公園／多様な世代が集う	子どもから高齢者まで、区内外の方がもっと楽しめる催し

5 東住吉区が目指す将来像

5.1 将来像

区政会議を経て、東住吉区が2030年に目指すべき将来像を次の通り掲げます。



東住吉区は大阪市の中でも自然や公園が豊かで、交通や生活の利便性にも恵まれた、心身ともに快適に暮らせる環境の良いまちです。

地域の行事や人とのつながりを大切に、支え合えるコミュニティを育むことで、子どもから高齢者、障がいのある方、誰もが安心して住み続けられると感じることが出来ます。

東住吉区は、あらゆる世代が健康で笑顔に暮らせるよう、“誰もが、ずっと住みたくなるまち”を目指します。

5.2

まちづくりの方向性

(1) 将来像の実現のための目標

将来像の実現に向けて、東住吉区の現状と課題や区政会議で出た意見を基に、5つの目標を設定し、取組を展開します。

みんなで子どもを育てるまちづくり

全ての子育て世代が、安心して出産・子育てができるよう、身近な支援体制や居場所づくりなどの環境整備を進めます。また、未来を担う子どもたちが、夢や希望をもって健やかに過ごせるよう、地域全体で見守り育むまちを目指します。

みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

公園や緑道など身近な自然環境を活かし、誰もが気軽に体を動かし、健康づくりに取り組めるまちを目指します。また、地域での自主的な防災活動も活発で、若者から高齢者まで、心と体の両面から、健康で安心して安全に暮らせるまちづくりを進めていきます。

みんなでつながり・支え合うまちづくり

世代や立場を超えてつながり、困ったときに支え合える関係性を地域で育むことで、誰もが孤立することなく自分らしく暮らせる環境をつくれます。地域活動やボランティアが活発なことをさらに活かし、多様な居場所づくりを通じて、人と人のつながりが自然に生まれる、あたたかいまちづくりを進めていきます。

みんなでわくわくを創造するまちづくり

商店街や公園など身近な場所で持続的ににぎわいや交流が生まれていくまちを目指します。自然と人が集まり、笑顔や会話が生まれるような「わくわく」がひろがるまちを、みんなでつくっていきけるような取組を進めます。

みんなが便利さを感じ続けられるまちづくり

手続きのスムーズ化などデジタル技術の活用も進めながら区役所サービスを向上し、誰にとってもわかりやすく使いやすいしくみを整えることで便利さを感じられる取組を行います。また公共インフラがくらしの中で、持続的に区民の利便性に資するようまちづくりを進めていきます。

(2) 目標別の視点と主な取組

みんなで子どもを育てるまちづくり

視点

- 子どもたちのゆめを育む
- 子育てしやすいまち

主な特徴・課題認識

- 児童数が多い、子育てのまち
- 人口減少・少子高齢化の深刻化

S（強み）

- ・合計特殊出生率は大阪市全体より高く、市内では比較的児童数が多い
- ・登下校時の見守り活動等、地域の子供達への思い

W（弱み）

- ・大阪市は全国平均より児童虐待が多い

O（機会）

- ・転入人口が増加

T（脅威）

- ・ひとり親世帯の増加と子どもの貧困

めざす姿（成果）

- （仮）児童虐待ゼロ、みんなで子どもを育てるまち東住吉

将来ビジョンの計画期間である5年間でめざす成果について、
区政会議の意見交換を踏まえ、検討を進めてまいります。

（仮）主な取組

- 養育者の孤立化や育児不安を軽減し、妊娠期から幼児期までの切れ目のない支援を行える体制を整備します。
- 就学児の養育状況を把握し、支援を要する場合には関係先につないでいきます。養育状況を把握し、支援を要する場合には関係先につないでいきます。
- 学校において発見された課題を抱えるこどもや子育て世帯に必要な支援へつないでいきます。

主な取組については、区政会議でのめざす姿（成果）等へのご意見を踏まえ、また令和8年度予算とあわせて検討を進めてまいります。

みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

視点

- みんな健康で元気になる
- 不安ゼロのまちにする

主な特徴・課題認識

- つながり・支え合いを大事にしているまち
- スポーツに親しみやすく、自然を感じられるまち
- 健康と地域福祉増進による安心の確保
- 地域防災力の向上

S（強み）

- ・ 公園・緑地が多い
- ・ 町会加入率は大阪市全体の平均より高い

W（弱み）

- ・ 健康寿命は国の平均と比較して短く、がん検診受診率は大阪市全体と比べて低い
- ・ 区域の多くが密集住宅市街地に設定されており、空家率も高い

O（機会）

- ・ ライフスタイルの変化と多様な幸せ（Well-Being）の追求

T（脅威）

- ・ 災害の激甚化
- ・ 高齢化の進行

めざす姿（成果）

- （仮）災害に強くみんな健康で不安ゼロのまち東住吉

将来ビジョンの計画期間である5年間でめざす成果について、区政会議の意見交換を踏まえ、検討を進めてまいります。

（仮）主な取組

- 特定健診・がん検診受診勧奨やフレイル予防の取組を実施することにより、「健康で、安心して暮らせる、みんなで健康づくりに取り組むまち」をめざします。
- 区民の防災意識の向上を図るとともに、地域防災活動の支援や区職員への訓練の実施、避難支援が必要な方に対する個別避難計画の作成等により、地域防災力の向上に取り組めます。
- 地域や警察署などと連携し、地域における防犯活動及び交通安全活動を活発に行うことで、区民の関心を高め、区内の犯罪発生件数及び交通事故発生件数の減少を目指すなど、区民の安心安全を確保します。

主な取組については、区政会議でのめざす姿（成果）等へのご意見を踏まえ、また令和8年度予算とあわせて検討を進めてまいります。

みんなでつながり・支え合うまちづくり

視点

- 互いの顔を知っているまちにする
- 困ったときはお互い様のまちにする

主な特徴・課題認識

- つながり・支え合いを大事にしているまち
- 健康と地域福祉増進による安心の確保

S（強み）

- ・ 町会加入率は大阪市全体の平均より高い
- ・ 早川福祉会館等の施設の立地

W（弱み）

- ・ 生活保護率が大阪市全体と比べて高い

O（機会）

- ・ 転入人口が増加

T（脅威）

- ・ 高齢化の進行、また高齢単身者割合が大阪市全体と比べて高い

めざす姿（成果）

- （仮）地域活動が活発な支え合いのまち東住吉

将来ビジョンの計画期間である5年間でめざす成果について、
区政会議の意見交換を踏まえ、検討を進めてまいります。

（仮）主な取組

- 高齢者の健康増進と孤独感の解消、居場所作りを図り、地域社会との交流を深めることにより介護予防や社会参加を促進します。
- 高齢者等の日常生活における“困りごと”相談対応。
「要援護者」に対する地域住民による見守りや助け合い活動支援。
複合的な課題を抱えた人を相談支援機関につなげるための連絡調整。
地域福祉活動を担う人材の発掘と育成。
高齢者等が地域福祉活動に参加するきっかけとなる「居場所」「つながり」づくり支援。
- 地域活動協議会による活動（防災訓練や夏祭り、親子サロン等）の継続・推進と、課題解消に向けた助言や支援により安定した地域運営、地域活動の活性化を促します。

主な取組については、区政会議でのめざす姿（成果）等へのご意見を踏まえ、また令和8年度予算とあわせて検討を進めてまいります。

みんなでわくわくを創造するまちづくり

視点

- 誰もが主体的にまちづくりに参加するまち
- 日常で楽しいを実感できるまち

主な特徴・課題認識

- 住宅系施設が多い、住まうまち
- スポーツに親しみやすく、自然を感じられるまち
- 人口減少・少子高齢化の深刻化
- 事業所の減少に伴う地域経済の減退

S（強み）

- ・公園・緑地が多く、また長居公園が立地
- ・駒川商店街等の立地

W（弱み）

- ・空家率が高い

O（機会）

- ・従業者数が近年微増傾向

T（脅威）

- ・事業所数が減少しており、一部地域で地価が停滞している

めざす姿（成果）

- （仮）まちの魅力が区内外に伝わるまち東住吉

将来ビジョンの計画期間である5年間でめざす成果について、
区政会議の意見交換を踏まえ、検討を進めてまいります。

（仮）主な取組

- 地域の活性化に向け、公民連携を推進し、まちの魅力の向上と発信に取り組みます。
- 矢田教育の森公園におけるスポーツ施設設置運営や上大和川住宅跡地の活用等、ビジョンの実現を目指して新たな賑わいを創出します。
- 企業間ネットワークやコミュニティ機能の強化を図り地元企業への関心や就職につながるきっかけづくりを行い、地域コミュニティの活性化やまちづくりの推進に取り組みます。

主な取組については、区政会議でのめざす姿（成果）等へのご意見を踏まえ、また令和8年度予算とあわせて検討を進めてまいります。

みんなが便利さを感じ続けられるまちづくり

視点

- 誰もがスムーズに感じる行政サービスのまち
- 心地よさを感じる暮らしの質の向上

主な特徴・課題認識

都心に近く、生活利便性の高いまち

公共サービスの持続的な発展とインフラの維持・活用

S（強み）

- ・ 駒川商店街等、各所に商店街があり、買い物や日常の利便性が高い。

W（弱み）

- ・ 区内にある施設の今後の老朽化と管理コストの増大が懸念される

O（機会）

- ・ JR 関西本線・阪和線、近鉄南大阪線、大阪メトロ谷町線が通る
- ・ ICT 等の新技術の適用

T（脅威）

- ・ 空家等の増加による生活利便性の低下

めざす姿（成果）

- （仮）地域の幸福度（Well-Being）が実感できるまち東住吉

将来ビジョンの計画期間である5年間でめざす成果について、
区政会議の意見交換を踏まえ、検討を進めてまいります。

（仮）主な取組

- 区役所手続きにかかる利便性向上による来庁者の減少・待ち時間の短縮化に取り組みます。
- 来庁者の方の利便性向上や区役所職員の効率的な業務実施に資するために、庁舎の適正な維持管理を行うとともに、将来的な更新に向けた検討を進めていきます。
- 「シェアサイクル」や「オンデマンドバス」の周知取組による区内交通利便性の向上を目指します。

主な取組については、区政会議でのめざす姿（成果）等へのご意見を踏まえ、また令和8年度予算とあわせて検討を進めてまいります。